

Latina

MUSICA CONTEMPORANEA DEL MUNDO

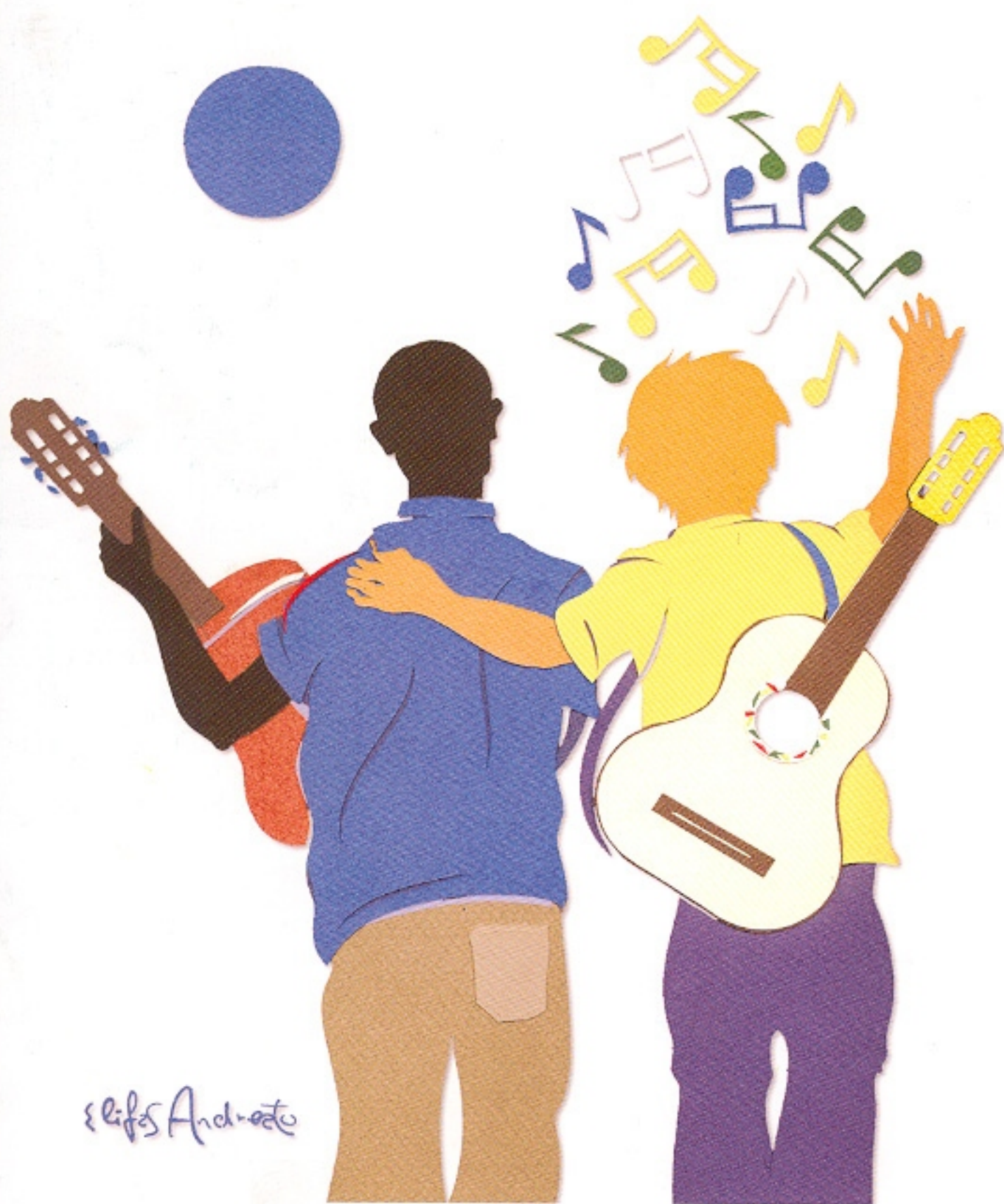
ラティーナ 世界の音楽情報誌
www.latina.co.jp

2002

M A Y O

5

昭和40年3月30日第三種郵便物認可
平成14年5月1日発行(毎月1回1日発行)通巻579号



復帰30周年——沖縄音楽の現在
チカーノ・グルーヴス・フロム・L.A.〜オゾマトリ〜ケッツアル
エポカ・チ・オウロ「時かれたシヨラウンの種」
チヨリーを探して完結編——社会主義を生きたある二級ミュージシャン
エチ・モッタの哲学
音楽的地球歩行術…メキシコシティ
アマデイト・バルデース「ティンバレーロの系譜」
現代アルメニアの音楽と「ロマ」を求めて
カストロはなぜ軍服を脱いだか
サンパウロからアンドレア・マーキー登場
イングランド・フォーク界の旗手、ケイト・ラスビー
日本の洋楽黎明期と雪村いづみ
フランキー・モラレス「ティト・プエンテの魂」

ÉPOCA DE OURO

伝統音楽をうまく乗せたつくりになっている。アルバム全体からは、パンクはもとより他の地方の音楽では感じられない、ほのぼのとした雰囲気が伝わってくる。彼のことを紹介した「シーサン」誌の記事のなかで、彼自身の言として「ワールド・ミュージック」という言葉を久しぶりに見つけ、ちょっと気恥かしい思いが……。しかし、自分たちの土地の音楽と外国から入り込んで、すでに自然な感覚になっっている音楽をいじることから新たな興味深い音楽が生まれるのなら、そうした活動に拍手を送りたい。シーサン大賞の審査員たちも、同じ気持ちであったにちがいない。2001年のシーサン大賞受賞者と作品は以下のとおりである。

- ◆男性ソロ・アーティスト賞：ドーム・バコニラム [Dome Naked]
- ◆女性ソロ・アーティスト賞：ハルタ・イ・ムーア [The Voice]
- ◆男性ロック・アーティスト賞：チラス・サック・バイン [Awake]
- ◆女性ロック・アーティスト賞：ウィーラワン・ファイヤナン [コン・マイ・ミー・ファチャイ (ハートのない人)]
- ◆デュオ/グループ賞：Mopertupoo [Love Me Love My Life]
- ◆ロック・グループ賞：dara [Pul]



Pluのメンバー (写真=ペーカリー、ミュージック提供)

- ◆新人賞：ランサン・ラーシー・ディップ [The Journey of Basket]
- ◆アルバム賞：ランサン・ラーシー・

ディップ [The Journey of Basket]

- ◆ロック・アルバム賞：チラス・サック・バイン [Awake]
- ◆歌曲賞：トンチャイ・メックインタイ [ラオ・スー・カン・ファン (聞かせてあげろ)] アルバム [Smile Club] より
- ◆ロック歌曲賞：Cieast [Love Scene] アルバム [One] より
- ◆インストゥルメンタル賞：Tawan & Lindemann [ソーン・クア・チュア Jenz (2 World Jazz Jam)]
- ◆録音賞：ピリー・オーガン [Stay Cool] アルバム [Pink] より
- ◆プロデューサー賞：Fayy [Flyman]

ライブ演奏が聴けるレストラン
国際会議やビレッジ・ネームのアーティストたちがコンサートを催すバンコクの [Queen Sirikit National Convention Center] に付属するレストランが、タイ最大のプロダクション、GMMグラーミー社の経営となり、ライブ演奏が楽しめるレストランに生まれ変わった。

「pebun-cafe」というこのレストランでは、GMMグラーミー所属の歌手、ハルタイ・ムーア [The Voice] や Ann、スミート&バン、バラボンなど中堅どころの歌手が日替わりで、午後8時から12時までのショータイムで歌う。毎週日曜日の午後9時30分からは、iTVというチャンネルでこのステージが生中継される。(特別番組の乱入によってしばしばつぶされる番組だが...) 出演歌手やレストランに関する詳細は、www.debutcafe.com を覗いてほしい。

(以上 by Satoshi Sakai)

Dr. k a a t e e r , 国際的舞台へ

タイで唯一のブラジリアン・ジャズバンドを率いる、タイで唯一の女性ジャズ・ギタリスト Dr. k a a t e e r (本名: シラポーン・マンターポーン。米

ボストンにある名門、バークリー音楽院在学時代を、バット・メセニーやジャコ・パストリアスなど、のちのビッグ・アーティストたちと共に過ごし (バットの公式デビュー・アルバムには、彼女に捧げた曲「シラポーン」が収録されている)、「当時アメリカに上陸したばかりだったブラジル音楽に、バットや仲間たちと陶酔したのが全てのはじまり」と語る彼女が、恋するよううに惚れ込んだブラジリアン・サウンドを母国タイに持ち帰ったのは4年前



タイ初の女性ジャズ・ギタリスト! Dr. k a a t e e r

初の女性ジャズ・ギタリストであることとや外圍仕込みの演奏に対する、古株タイ・ミュージシャンたちからの強烈なバッシングにもへこたれず、独自のアレンジで磨き上げた本格的なブラジリアン・ミュージックを、タイの人々の耳に直接届けてきた。現在では、ライブ演奏に加えてラジオや雑誌でも活躍。さらにその活動は世界へと、ダイナミックに展開している。

スペイン語が主流のラテンアメリカの中でたまたま、ポルトガル語が公用語であるブラジル。ポルトガルとの関わりが深いこの国の音楽をタイに伝えている Dr. k a a t e e r は、ヨーロッパ20大基金の一つであるポルトガルの Fundacao Oriente から、2002年度のアーティストック・レジデンシーを授与された。建築やデザイン、写真なども含む、アジアのアーティスト全体から選抜された、わずか3名に

与えられるこのレジデンシーを、タイのミュージシャンで授与されたのは彼女が初めて。世界各国から有名アーティストが集い、3月末から4月にかけてポルトガルで行われる、ポルトガル・アジア間の歴史・芸術的関係維持と文化・芸術的交流促進のための一大プロگرامに、アジア代表の一人として参加することが決まっている。また、4月末にインドで開催されるアジア最大のジャズフェスティバル Jazz Yaaria にもタイ代表として招かれており、こちらもタイからは初。さらに、米グラミー賞を志望して多カカアミー、NARASの現役会員でもある彼女 (これもタイ人としてはただ一人、6月にビバリーヒルズで行われる全員20周年記念祝典にも出席予定。6月から8月にかけては、ロスとブラジルのレコーディングが計画されており、アルバム・リリースも期待される。

(by Marisa Osawa) www.rocktimes.jp

沖繩短信 www.rocktimes.jp

映像音楽作曲家 伊波興典

伊波興典 (IMAOSHO) がアルバムを出した。タイトルは「ピースポートチルドレン」。国際貿易からリリースされた。彼は多くの地元企業のCM曲、テレビ番組の音楽など、主に映像の場で音楽を制作している作曲家だ。

1964年 (昭和39年) 沖縄県宜野湾市で生まれ、13歳でギターと作曲を始める。



伊波興典



「ピースポートチルドレン」ジャケット

始める。80年にはTHE BLUESTRIPを結成。後に横浜へ行き、バンドはROMANROLLANDと改名後、「ポップコン84」「イーストウエスト85」「ポップコン85」で連続グランプリを獲得し、関東甲信越ロック大会には横浜代表として、3期連続出場。93年にライブハウス「ケントス沖繩」に入社。ベース担当。97年に退社するまで約7千ステージをこなすかたわら、本格的にTV、CMの作曲活動をはじめ。96年、沖繩テレビ、報道特番「悲風に吹かれて」の音楽を担当し同番組が日本民間放送連盟番組大賞 (報道部門) 大賞、「FNSドキュメンタリー大賞」では、進大賞を獲得。97年、沖繩県立北谷高校女子新体操、団体演技曲「地球」を作曲。98年、同校演技曲「太陽の季節」を作曲。2000年にはインパクトを作曲。2000年にはインパクトを作曲。2000年にはインパクトを作曲。

今回のアルバムは、このサウンド・トラック曲「アクア・シティ」で始まる。音は全編シンセサイザー、サンプリングで制作されており、時折聞こえる四つ竹の音、子供の声があくせんとあって、癒しの音世界が繰り広げられる。インストゥルメンタル・ミュージックだ。彼のホームページのURLは以下の通り。
<http://www.h3.dion.ne.jp/~tha/>
(by Hiroshi Nakasone)